



DNW- 21001 の概要

課題名 : MYC の活性を制御する新規分子標的薬の探索
主任研究者 (Principal Investigator) :
梶野 泰祐 (愛知県がんセンター研究所)
ステージ: スクリーニング

【標的疾患】

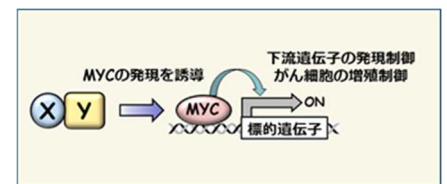
MYC 高発現の肺癌等

【創薬標的】

がん遺伝子 MYC の発現を制御する新規分子 X

【創薬コンセプト】

がん遺伝子 MYC の発現を制御する新規分子 X とたんぱく質 Y の結合を阻害することにより、MYC の活性を抑制し、がん細胞の増殖を抑制する。



【ターゲットプロダクトプロフィール】

MYC 高発現の肺癌等に対して、単剤又は既存薬との併用によって抗腫瘍効果を示す分子標的薬

【モダリティの設定】

低分子化合物、中分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI により明らかにされている。

- 1) 代表的ながん遺伝子である MYC の発現を制御する研究を通じて、肺癌細胞の増殖を維持する新規分子 X を見出した。
- 2) 新規分子 X と協調して働くたんぱく質 Y を同定し、X と Y が結合して MYC の転写を制御していることを見出した。

以下のことが創薬ブースター支援により明らかにされている。

- 1) 新規分子 X とたんぱく質 Y の結合阻害による抗腫瘍効果を確認した。

【科学的、技術的な優位性】

X と Y の結合阻害により、代表的ながん遺伝子であり肺癌細胞の増殖に必須な転写因子 MYC の発現を抑制するというコンセプトは、PI らが見出した知見に基づく新規のものである。

【支援ステージにおける目標】

ハイスループットスクリーニング（HTS）を実施し、ヒット化合物を取得する。

【関連特許】

なし

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。